

龍衣 名 みやこの藤十郎



二〇〇五年十一月一日〔火〕十三時開演

京都芸術劇場 春秋座

京都造形芸術大学内 京都市左京区北白川瓜生山二二一六
問合せ：京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター ☎075-791-9427



2005年京都南座の顔見世をふりだしに、中村鴈治郎氏が自身の演劇活動において悲願としていた坂田藤十郎の襲名披露を行います。藤十郎といえば京都ゆかりの大名跡。屋号は山城屋。三代目で途絶えていましたが、231年ぶりの復活は演劇史上でも特筆されることでもあります。そこで、襲名にさきがけて、「坂田藤十郎」をキーワードに歌舞伎という演劇の持つエネルギーに注目、「襲名 みやこの藤十郎」を開催いたします。

まず、上方歌舞伎の名門鴈治郎氏がなぜ藤十郎を襲名するのか。20年来鴈治郎氏の演劇活動を見続けてきた諏訪春雄氏があきらかにします。つぎに、宝井馬琴師の講談「藤十郎の恋」で、演劇史上の藤十郎を身近な存在に感じていただきます。初代藤十郎の逸話をもとに書かれた菊池寛作「藤十郎の恋」を、この企画のために講談の台本として新作、本公演が初演となります。講談という芸能を、日本を代表する講談師の芸で知ってもらふ恰好の機会でもあります。そして最後に中村鴈治郎氏に藤十郎襲名を中心に歌舞伎への熱き思いをうかがいます。

「坂田藤十郎」の襲名は、上方歌舞伎のシンボリックな名前が復活するということだけにとどまりません。昨年の市川海老蔵襲名によって広く知られた江戸の荒事に対して、上方の和事がクローズアップされることとなり、これは現代の歌舞伎界にとって大きな意味を持つものです。この講演をつうじて「みやこの藤十郎」の演劇精神、それを受け継ぎつつ現代の歌舞伎を考える新しい藤十郎の演劇精神に触れていただけのことでしょう。

襲名 みやこの藤十郎

2005年11月1日[火] 13:00開演

京都芸術劇場 春秋座

開場は開演の30分前 / 入場料1,000円 [全席指定]

チケット取扱 京都芸術劇場チケットセンター
Tel. 075-791-8240 (平日午前10時～午後5時)

企画 京都造形芸術大学 映像・舞台芸術学科 田口章子

主催 京都造形芸術大学

協力 松竹株式会社、(株)アロープロモーション

問合せ 京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター
Tel. 075-791-9437



- 講演 「扇雀・鴈治郎・藤十郎一元禄上方歌舞伎再生の情念」
 諏訪春雄 [学習院大学名誉教授]
- 講談 「藤十郎の恋」
 宝井馬琴
- トークショー 「鴈治郎、坂田藤十郎を語る」
 中村鴈治郎 [聞き手 田口章子]

中村鴈治郎



中村鴈治郎 なかむら がんじろう

昭和6年12月31日生まれ。二代目中村鴈治郎の長男。昭和16年10月、大阪・角座『山姥』の金時で二代目中村扇雀を襲名し初舞台。昭和50年頃から和事を中心に二枚目系の立役を次々と手掛ける。また女方としても活躍、幅広い芸域を持つ。平成2年11月歌舞伎座『吉田屋』の伊左衛門、『河庄(かわしょう)』の治兵衛で三代目中村鴈治郎を襲名。昭和56年に、近松門左衛門と坂田藤十郎を自らの原点とすべく「近松座」を結成。以来数多くの近松作品を国内外で上演。特に「曾根崎心中」のお初役は通算1200回を超える。昭和28年毎日演劇賞。昭和55年度芸術選奨文部大臣賞。昭和60年度日本芸術院賞。平成2年紫綬褒章。平成6年重要無形文化財保持者(人間国宝)。同年日本芸術院会員。平成8年読売演劇大賞最優秀男優賞など数々の賞を受賞。平成15年文化功労者認定。平成17年12月京都・南座「吉例顔見世興行」、同18年1月東京・歌舞伎座「壽初春大歌舞伎」にて、三世の没後231年ぶりに坂田藤十郎の名を襲名する。

宝井馬琴



宝井馬琴 たからい ばきん

昭和10年静岡県生まれ。昭和34年明治大学文学部英米文学科卒業、と同時に五代目宝井馬琴に正式入門、前座名琴調となり、4月初高座。昭和41年真打昇進、琴鶴となる。昭和62年六代目宝井馬琴を襲名。現在、講談協会副会長。主な受賞歴に、芸術祭賞(平成3年)、芸術選奨文部大臣賞(平成10年)、紫綬褒章(平成11年)。CDに「馬琴の世界」(日本コロムビア)ほか、レコード・カセット多数。著書に「埼玉英傑伝」、「馬琴の東海道中記」等。

諏訪春雄



諏訪春雄 すわ はるお

学習院大学名誉教授。文学博士。国際浮世絵学会前理事長。民族文化の会代表。研究領域は、近世文芸、近世演劇、浮世絵、比較民俗学など幅広い。著書は『日本の幽霊』『折口信夫を読み直す』『日中比較芸能史』『日本の祭りと芸能』『安部晴明伝説』『北斎の謎を解く』『歌舞伎へどうぞ』ほか多数。ホームページ「諏訪春雄通信」で定期的に刺激的な最新の研究情報を提供している。
<http://www.haruo-suwa.jp/>

田口章子 たぐち あきこ

日本近世文学、歌舞伎研究。学習院大学大学院修了。「江戸時代の歌舞伎役者」で芸術選奨文部大臣新人賞(評論部門)受賞。その他の著書に「ミーハー歌舞伎」「おんな忠臣蔵」「21世紀によむ日本の古典 東海道四谷怪談」「歴史文化ライブラリー170 歌舞伎と人形浄瑠璃」ミネルヴァ日本評伝選「二代目市川團十郎 役者の氏神」など。伝統芸能公演の企画にも携わる。京都造形芸術大学映像・舞台芸術学科教授。

京都造形芸術大学
 京都芸術劇場「春秋座」

京都市左京区北白川瓜生山2-116

- JR「京都」駅／京阪「三条」駅／阪急「河原町」駅から
 京都市バス5番「岩倉」行き乗車
 「上終町・京都造形芸大前」下車
 京都駅からは約50分

- 市営地下鉄「丸太町」/「北大路」駅から(約十五分)
 京都市バス204循環に乗車
 「上終町・京都造形芸大前」下車
- 京阪電鉄「出町柳」駅から
 叡山電車に乗り換え
 「茶山」駅下車徒歩十分、タクシーで十分

※ 本学には駐車場がございません。車・バイクでのご来場はご遠慮ください。

